

インフォシス、ライフサイエンス技術コンサルティング会社 BASE life science の買収で合意

ライフサイエンス分野の専門能力強化と欧州の地盤固めを視野に買収

バンガロール (インド)、コペンハーゲン (デンマーク) – 2022 年 7 月 13 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーであるインフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) は 13 日、欧州の大手ライフサイエンス技術コンサルティング会社である [BASE life science](#) の買収で最終合意に至ったこと明らかにしました。同社はこの買収を通じて、クラウドファーストのデジタルプラットフォームとデータを用いて世界的なライフサイエンス企業の事業価値の実現を後押しし、臨床試験の加速と医薬品開発の拡大を推進して、人々の生活にプラスの影響や更なる健康をもたらすという同社の強い決意を再び示しました。

BASE の買収により、インフォシスは商業、医療、デジタルマーケティング、臨床、規制、品質に関するノウハウを備えた業界の専門家を確認することが可能となります。BASE はデータサイエンスの専門家から成るチームに支えられ、最新技術の開発とトレンドの最前線にあります。特にデータや人工知能 (AI) に力を入れると同時に、業務ロジックと技術をつないで統合する力を活かして、インサイトを活用した健康促進に力を注いでいます。

BASE はデンマークに本社を置く、ライフサイエンス業界で有数の急成長を遂げる技術コンサルティング会社で、デンマーク、スイス、英国、ドイツ、フランス、イタリアおよびスペインのニアショア技術ハブに多分野の優秀な専門家約 200 人を擁します。BASE はインフォシスと共に、同社の専門知識をさらにコンシューマーヘルス、動物医療、医療技術およびゲノミクス分野にまで拡大する予定です。BASE は Veeva、IQVIA、Salesforce といったライフサイエンス業界の大手テクノロジープロバイダーと協業しています。

インフォシスの社長である Ravi Kumar S は次のように述べています。「この買収により、当社の豊富なライフサイエンス関連知識のさらなる強化や、北欧や欧州での事業基盤の拡大、クラウドベースの業界ソリューションによるデジタル変革能力の拡大を図ります。BASE life science と同社の経営陣を当社ファミリーに迎えることができ、胸が高鳴る思いです。」

BASE life science の最高経営責任者（CEO）である Martin Woergaard 氏は次のように述べています。「過去 5 年間で BASE life science は驚異的な成長を遂げ、欧州において一流のライフサイエンス・コンサルティング会社となりました。インフォシスが触媒となることで、当社は海外事業の拡大を加速するとともに、当社人材に能力開発の機会を提供することが可能となります。インフォシスは盤石な世界的な大手テクノロジー企業であり、同じ目的と価値観の下で今後成功し続けるにあたり、申し分のないパートナーです。」

この買収は、慣習的な買収完了条件を満たしたのち、2023 年度第 2 四半期に完了する予定です。

VEEVA は Veeva Systems Inc. の登録商標です。

IQVIA は IQVIA Holdings Inc. の登録商標です。

Salesforce は salesforce.com, inc. の登録商標です。

BASE life science A/S について

BASE life science は革新的で進歩的な技術、製品およびサービスのコンサルティング会社です。デジタルプラットフォームとデータから真の事業価値を創造し、人々の成長を促し、重要産業に持続可能な効果をもたらし続ける革新的なソリューションの提供を専門としています。

BASE は経験豊かなチームを擁し、ライフサイエンス企業の顧客エンゲージメント、品質、規制、コンプライアンス、臨床データ管理における技術と業務プロセスを最適化しています。

同社は欧州をリードするライフサイエンス技術コンサルティング会社になることを目指しており、現在デンマーク、スイス、スペイン、イタリア、フランス、英国、ドイツの拠点から世界中のお客様を支えています。献身的なチームの努力と尽力に支えられ、同社はライフサイエンス業界で信頼できるアドバイザーとしての地位を固めており、今後もお客様のビジョンを生活に反映できる信頼されるパートナーであり続けるために努力を続けています。 www.baselifescience.com

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバルリーダーです。当社の従業員 30 万人以上が個人や企業、コミュニティの人材の潜在能力を高め、次の機会を創造する取り組みを行っています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステムや業務管理の経験に基づき、世界 50 か国以上のお客様のクラウドによるデジタル変革を専門家として導いています。この実現には AI を導入したコアを利用しており、企業の力を高めるためにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入しています。また、当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシス

テムから創出されるアイデアの移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。当社はガバナンスの行き届いた、持続可能な組織環境づくりに強くコミットしており、受容性の高い職場で多様な人材が活躍しています。

インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらは、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドと米国での人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2021 年会計年度（2022 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

詳細のお問い合わせ

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com